

評価規準（令和２年度）【国語】１学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なかよしの き	【知識・技能】姿勢や口形，発声に注意して話している。 （〔知識および技能〕(1)イ）	【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ｃイ）	【態度】進んで場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉え，学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。
たのしい いちにち	【知識・技能】姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ）	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ａウ）	【態度】積極的に姿勢や口形，発声や発音に注意して，学習の見通しをもって挨拶をしようとしている。
わたしの なまえ	【知識・技能】姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ）	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ａウ）	【態度】積極的に姿勢や口形，発声や発音に注意して，学習の見通しをもって名前を紹介し合おうとしている。
おはなし たくさん ききたいな	【知識・技能】読書に親しみ，いろいろな本があることを知っている。（〔知識及び技能〕(3)エ）		【態度】積極的に読書に親しみ，学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。
こえの おおきさ どれくらい		【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ａウ）	【態度】積極的に姿勢や口形，発声や発音に注意して，学習の見通しをもって話そうとしている。
かいて みよう	【知識・技能】平仮名を読み，書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		【態度】進んで平仮名を読んだり書いたりし，学習課題にそって言葉を書こうとしている。
こえを あわせて あいうえお	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Ａウ）	【態度】積極的に姿勢や口形，発声や発音に注意して，学習の見通しをもって音読しようとしている。
あいうえお	【知識・技能】音節と文字との関係，アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに，姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ）		【態度】積極的に姿勢や口形，発声や発音に注意して，学習の見通しをもって声に出して読もうとしている。

みつけて はなそう、たのしく きこう	【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ）	【態度】積極的に互いの話に関心を持ち、学習の見通しをもって尋ねたり応答したりしようとしている。
かき、かぎ	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に濁音・半濁音の表記、句点の打ち方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。
ことばを あつめよう	【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）		【態度】進んで身近なことを表す語句の量を増やし、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
くまさんと ありさんの ごあいさつ	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ）	【態度】進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。
ねこ、ねっこ	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ） 【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)カ）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に促音の表記、読点の使い方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。
ほんを よもう	【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（〔知識及び技能〕(3)エ）		【態度】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を伝え合おうとしている。
ことばを つなごう	【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】進んで身近なことを表す語句の量を増し、学習課題に沿って読んだり書いたりしようとしている。

たのしく よもう 1 あいうえおの うた	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。〔知識及び技能〕(1)ク)		【態度】進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の見通しをもって音読しようとしている。
ごじゅうおん	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記の仕方を理解して文や文章の中で使っている。また、また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)ウ)		【態度】積極的に平仮名を読み、今までの学習を生かして五十音表の特徴に気づこうとしている。
けむりの きしゃ	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。〔知識及び技能〕(1)ク)	◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ)	【態度】進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている。
のばす おん	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)ウ)		【態度】積極的に長音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
せんせい、あのね	【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。〔知識及び技能〕(1)カ)	【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)	【態度】進んで主語と述語との関係に気付こうとし、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。
みんなに はなそう	【知識・技能】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。〔知識及び技能〕(1)キ)	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。〔思考力、判断力、表現力等〕Aア)	【態度】積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付け、今までの学習を生かして身近なことを話そうとしている。
たのしく よもう 2 がぎぐげごの うた	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。〔知識及び技能〕(1)ク)		【態度】進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の見通しをもって音読しようとしている。
よく みて かこう	【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きを伝える働きがあることに気付いている。〔知識及び技能〕(1)ア)	【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)	【態度】進んで経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。

すずめの　　くらし	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及を読み、書いている。〔知識及び技能〕(1)ウ)	【思考・判断・表現】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cア)	【態度】積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。
しゃ、しゅ、しょ	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)ウ)		【態度】積極的に拗音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
たのしく　　よもう　　3 きやきゅきよの　　うた	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。〔知識及び技能〕(1)ク)		【態度】進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の見通しをもって音読しようとしている。
しらせたい　　ことを　　かこう	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)	【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)	【態度】積極的に長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。
は、を、へ	【知識・技能】助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)ウ)		【態度】積極的に助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文を書こうとしている。
としょかんへ　　いこう	【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ)		【態度】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。
おはなしの　　くに	【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。〔知識及び技能〕(3)エ)	【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ)	【態度】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を読もうとしている。
おおきな　　かぶ	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。〔知識及び技能〕(1)ク)	【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ)	【態度】進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。

えにつき	【知識・技能】長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）	【思考・判断・表現】「書くこと」において，自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bイ）	【態度】積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え，今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。
なつの おもいでを はなそう	【知識・技能】姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ）	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，身近なことや経験したことなどから話題を決め，伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（〔思考力，判断力，表現力等〕Aア） 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもっている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Aエ）	【態度】積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き，学習の見通しをもって質問や感想を言おうとしている。
かたかなの ことば	【知識・技能】片仮名を読み，書くとともに，片仮名で書く語の種類を知り，文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		
けんかした 山	【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ） 【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Cイ）	【態度】進んで場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉え，学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたりしようとしている。
（みんなで たのしく よみましよう。）	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Cカ）	【態度】進んで文章を読んで感じたことを共有し，学習の見通しをもって役割を決めて音読しようとしている。
かん字の はじまり	【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ）		【態度】進んで当該学年で配当されている漢字を読み，学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
だれが，たべたのでしょうか	【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)カ） 【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	【思考・判断・表現】「読むこと」において，時間的な順序や事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Cア）	【態度】積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉え，学習の見通しをもって分かったことや思ったことを話そうとしている。
たのしかった ことを かこう	【知識・技能】長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）	【思考・判断・表現】「書くこと」において，経験したことや想像したことなどから書くことを見付け，必要な事柄を集めたり確かめたりして，伝えたいことを明確にしている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bア） 【思考・判断・表現】「書くこと」において，自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Bイ）	【態度】進んで経験したことから書くことを見付け，学習の見通しをもって文章を書こうとしている。
かぞえうた	【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ） 【知識・技能】長く親しまれている言葉遊びを通して，言葉の豊かさに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)イ）		【態度】進んで言葉遊びに親しみ，学習の見通しをもってリズムよく音読しようとしている。

かぞえよう	【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。〔〔知識及び技能〕(1)エ〕		
しを よもう あめの うた	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。〔〔知識及び技能〕(1)ク〕	【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。〔〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ〕	【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
見つけたよ、いきものの ひみつ	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。〔〔知識及び技能〕(1)ウ〕	【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。〔〔思考力、判断力、表現力等〕Bア〕	【態度】積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。
一 かかれて いる ことを たしかめよう はたらく じどう車	【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。〔〔知識及び技能〕(1)オ〕	【思考・判断・表現】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。〔〔思考力、判断力、表現力等〕Cア〕 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。〔〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ〕	【態度】進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。
「のりものカード」で しらせよう	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。〔〔知識及び技能〕(1)ウ〕	【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。〔〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ〕	【態度】進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「のりものカード」を書こうとしている。
えを 見て おはなししよう	【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。〔〔知識及び技能〕(1)オ〕	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。〔〔思考力、判断力、表現力等〕Aア〕	【態度】進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。
かん字の ひろば ① 日づけと よう日	【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。〔〔知識及び技能〕(1)エ〕		【態度】積極的に漢字を読み、学習課題に沿って音読しようとしている。

二　しゃしんと　文から、だれが　な にを　したかを　たしかめよう うみへの　ながい　たび	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ） 【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。
きこえて　きたよ、こんな　ことば	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことと想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】進んで想像したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書こうとしている。
天に　のぼった　おけやさん	【知識・技能】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。（〔知識及び技能〕(3)ア）	【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、学習の見通しをもっておもしろかったところを発表しようとしている。
かたかな	【知識・技能】片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		【態度】積極的に片仮名を読み、見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
かん字の　ひろば　② かん字の　よみかた	【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ）		【態度】進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって複数の読み方がある漢字を知ろうとしている。
こころ　ぼかぼか　手がみを　かこう	【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ）	【態度】粘り強く文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正し、学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。
三　ばめんの　ようすを　くらべて ようよう スイミー	【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（〔知識及び技能〕(3)エ）	【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。
「おはなしどうぶつえん」をつくって、本を　しょうかいしよう	【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、今までの学習を生かして「おはなしどうぶつえん」を作り、本を紹介しようとしている。

しを たのしもう ゆき	【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
四 ぶんしょうと えを あわせて よもう みぶりで つたえる	【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】積極的に文章の内容と自分の体験とを結びつけて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
文を つくろう	【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)カ）		【態度】進んで文の中における主語と述語との関係に気付こうとし、学習課題に沿って簡単な文を作ろうとしている。
かん字の ひろば ③ かわる よみかた	【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ）		【態度】進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって読み方が変わる漢字を知ろうとしている。
五 きいた ことを 正しく つたえよう 学校の ことを つたえあおう	【知識・技能】姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ）	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ） 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ）	【態度】進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。
ことばで つたえよう	【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）		【態度】進んで、言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習課題に沿って言葉で表そうとしている。
六 つたえたい ことを おもい出して かこう おもい出の アルバム	【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ） 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）	【態度】積極的に文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。
かん字の ひろば ④ にて いる かん字	【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ）		【態度】積極的に漢字を読み、学習課題に沿って形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。

しりとりで あそぼう	【知識・技能】音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)イ）		【態度】進んで音節と文字との関係に気付こうとし、今までの学習を生かしてしりとりを楽しもうとしている。
七 ようすを おもいうかべながら よう お手がみ	【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)カ）	【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ） 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
こくごの がくしゅう これまで これから		【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア） 【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】進んで話題を決め、今までの学習を生かして思い出したことや二年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。

評価規準（令和 2 年度）【書写】 1 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
がっこうの もじたんけん	【知技】 校内にあるさまざまな文字に気づいている。 校内にある文字をカードに書いている。	【思判表】 校内にあるさまざまな文字が何のために書か れているのか、考えている。	【態】 校内にあるさまざまな文字を探そうとしている。
1 はじめの がくしゅう ①じを かくしせい ②えんぴつのもちかた ③たのしくかこう	【知技】 よい姿勢・鉛筆の持ち方がわかっている。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で運筆している。	【思判表】 よい姿勢・鉛筆の持ち方について考えている。	【態】 よい姿勢・鉛筆の持ち方で書こうとしている。
2 ひらがなの がくしゅう ①せんの おわりの かきかた ②かきじゅん ③じを かきはじめる ところ ④せんの とちゅうの かきかた ⑤にて いる ひらがな ⑥ますめの なかの かく ところ ⑦じの かたち 【レッツ・トライ】 一よこがきの かきかた	【知技】 終筆の書き方を理解している。 終筆の書き方に気をつけて書いている。 【知技】 正しい書き順について理解している。 正しい書き順で書いている。 【知技】 筆の位置を理解している。 正しい始筆の位置で書いている。 【知技】 送筆の書き方について理解している。 送筆の書き方に気をつけて書いている。 【知技】 似ている平仮名どうしの類似点や相違点を理解 している。 似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて 書いている。 【知技】 拗音・促音などの書く位置や大きさについて理解 している。 拗音・促音などを正しい位置で書いている。 【知技】 文字の外形を理解し、練習文字のまわりを「しか く」「さんかく」「まる」に囲んでいる。 おおよその形に気をつけて書いている。 【知技】 横書きの書き方を理解して書いている。	【思判表】 終筆の書き方について考えている。 【思判表】 正しい書き順について考えている。 【思判表】 始筆の位置について考えている。 【思判表】 送筆の書き方について考えている。 【思判表】 似ている平仮名どうしの類似点や相違点につ いて考えている。 【思判表】 拗音・促音などの書く位置や大きさについて考 えている。 【思判表】 文字のおおよその形について考えている。 【思判表】 縦書きの書き方との違いについて考えている。	【態】 終筆に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっ ている。 【態】 書き順に気をつけて書こうとしている。 【態】 始筆の位置に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも、始筆の位置に気をつけて書こうとする意識 をもっている。 【態】 送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっ ている。 【態】 似ている平仮名どうしの類似点や相違点を意識しなが ら書こうとしている。 ほかの文字でも平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけ て書こうとする意識をもっている。 【態】 拗音・促音などに気をつけて書く意識をもっている。 【態】 文字のおおよその形に気づき、学習への意欲をもっ ている。 ほかの文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識を もっている。 【態】 横書きの書き方について知り、学習への意欲をもっ ている。 ほかの言葉でも、横書きの書き方に気をつけて書こうとする 意識をもっている。

⑧ひらがなの ひょう	【知技】平仮名の正しい書き順や字形について理解している。 平仮名の書き順や字形に気をつけて書いている。	【思判表】平仮名の書き順や字形について考えている。	【態】平仮名の表を見ながら、先生や友達の名前やさまざまな言葉を書く活動に、取り組もうとしている。
3 かたかなの がくしゅう ①かたかなの かきかた ②じの かたち ③にて いる じ	【知技】片仮名の終筆と送筆の書き方について理解している。 【知技】片仮名のおおよその形を理解している。 片仮名の外形に気をつけて、正しく書いている。 【知技】「点」と「はらい」の方向について理解している。 「点」と「はらい」の方向に気をつけて書いている。 片仮名と平仮名の違いを理解して書いている。	【思判表】片仮名の終筆と送筆の書き方について考えている。 【思判表】片仮名の外形について考えている。 【思判表】払う方向の違いについて考えている。 片仮名と平仮名の形の違いについて考えている。	【態】片仮名の終筆と送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 【態】片仮名の外形に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも、文字の外形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 【態】片仮名と平仮名の形の違いに気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも、片仮名の字形に気をつけて書こうとしている。
4 かん字の 学しゅう ①かくの おわりの かきかた ②かくの とちゅうの かきかた ③文字の かたち ④かきじゅん ⑤かきぞめ ⑥かくの ながさと ほうこう	【知技】終筆の書き方を理解している。 終筆を正しく書いている。 【知技】送筆の書き方について理解している。 送筆を正しく書いている。 【知技】文字の外形を理解し、練習文字のまわりを囲んでいる。 外形の違いに気をつけて書いている。 【知技】書き順の原則を理解している。 書き順の原則に従って、正しく書いている。 【知技】書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形について理解して書いている。 【知技】画の長さの違いについて理解している。 「おれ」の方向の違いについて理解している。 画の長さに気をつけて書いている。 「おれ」の方向に気をつけて書いている。	【思判表】終筆の書き方について考えている。 【思判表】送筆の書き方について考えている。 【思判表】文字の外形の違いを考えている。 【思判表】書き順の原則について考えている。 【思判表】書き出しの位置や、句読点を書く位置について考えている。 書き順や字形について考えている。 【思判表】画の長さの違いについて考えている。 「おれ」の方向の違いについて考えている。	【態】終筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 【態】送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 【態】文字の外形の違いに気づき、学習への意欲をもっている。 ほかの文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 【態】書き順の原則に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも、書き順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。 【態】書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて書こうとしている。 書き順や字形に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 【態】画の長さに気をつけて書こうとしている。 「おれ」の方向の違いに気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも画の長さに気をつけて書こうとする意識をもっている。 ほかの文字でも「おれ」の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。

【かいて つたえあおう】 ありがとうカードを かこう	【知技】カードの書き方について理解している。 字形や書き順に気をつけて書いている。	『思判表』カードの書き方について、考えている。	【態】友達に贈るカードを、相手意識をもって意欲的に書こうとしている。 ほかの学習場面においても、相手のことを考えて丁寧に書く意識をもっている。
学しゅうの まとめ	【知技】文字の形や書く位置について理解している。 字形や書く位置に気をつけて書いている。	【思判表】今まで学習した内容について考えている。	【態】学習したことを生かして書こうとしている。 ほかの文章でも、字形や書く位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。
ひっきようぐを えらんで かこう	【知技】筆記用具の使い方を理解している。 自分の名前を丁寧に書いている。	【思判表】筆記用具の種類と用途の違いについて考えている。	【態】筆記用具の違いを意識して、確かめようとしている。 ほかの文字でも筆記用具の使い方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【しりたい 文字の せかい】 なんの かたちから できた かん 字かな	【知技】漢字の成り立ちについて理解している。 学習した漢字について、字形に気をつけて書いている。	【思判表】漢字の成り立ちについて考えている。	【態】漢字の成り立ちに対する興味・関心をもって書こうとしている。 ほかの漢字についても、その成り立ちについて関心をもっている。
【かん字の ひょう】 一年生で 学しゅうする かん字	【知技】終筆・送筆の書き方や、書き順や字形について理解している。 送筆・終筆などの違いによって、漢字の仲間集めなどを行っている。	【思判表】終筆・送筆の書き方や、書き順や字形の良しあしを考えている。	【態】終筆・送筆の書き方や、書き順や字形を確かめようとしている。 ほかの文字でも終筆・送筆の書き方や、書き順や字形に気をつけようとする意識をもっている。
しょしゃの たいそう	【知技】始筆, 送筆, 終筆の書き方について理解している。	【思判表】始筆, 送筆, 終筆の書き方について考えている。	【態】これまでに学習した始筆, 送筆, 終筆の書き方について確かめようとしている。 ほかの文字でも始筆, 送筆, 終筆の書き方に気をつけようとする意識をもっている。
【かたかなの ひょう】 水しょうしの つかいかた	【知技】片仮名の筆順や字形について理解している。	【思判表】片仮名の字形や筆順について考えている。	【態】片仮名の筆順や字形を確かめている。 片仮名の言葉を探している。 常に片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。